

たんぽぽ便り

夏号

機関誌

2009年8月10日発行

(平成21年)

〒656-1331

洲本市五色町都志大日 707
五色グループホーム

TEL0799-33-1117

連日、厳しい暑さが続いています。

洲本市健康福祉総合センターでは8月5日(水)納涼祭が行われました。ご入居者の方々は舞台での催しを見て、「上手に踊るな」「ええもん見れたわ」など、いつもと違った表情や笑顔がみられました。

最近では散歩をはじめ、家事や畑仕事などを日課とし、生活リハビリによる体力低下の予防に努めています。また、地域行事への参加、個別の希望外出などを増やし、地域の方々との出会う機会を増やしています。

今後は、さらに「個性」魅力を引き出し、「笑顔あふれる」ホームにできるようつとめてまいります。

納涼祭に参加しました

屋台のアイスクリームやこ久しぶりに食べたわ、冷たて美味しいわ

はい、ありがとうございます。また買いますよって

ようきん品物置いてあんな、私はお菓子が好きやから買って帰るけど、皆の分も買ったかな



私の役割

4ヶ月目を迎えて、ご入居者の方々の「特徴」役割が定着しました。食材の収穫、切る、炒める、盛り付け、片付けなど、家事を役割分担しています。役割は固定せずに交替で行っています。華麗な包丁さばきと手際の良さに、「もう、切るものはないのか」と催促の声も…。



「ししとうは油炒めが美味しいな」
「醤油と砂糖の味付けでええわ」



「ようさんできとんな、ええのだけとっこよ」



「包丁やこ久しぶりに持ったわ」

「自分のつこた食器を洗うのは当たり前」
「これもついでにあるとくわな」



「ちょっとよ、これは細切りでええのけ？」
「漬けもんにするんやったら、これくらいやろ」



「次は誰のどこへ蹴ろうかな」
「いくで〜」



「教えてもうてから毎日舌も磨いとるで」

「こんな上に吊るしたら腰が伸びるわ」
「こんな願事叶うかしらねえ」



「天気の良い日は毎朝、散歩。雨の日はホーム内で体操。」



「落としたり危ないから、何回にも分けて食器を運んでますよ、ええ運動よ」

生活リハビリコーナー

外出&交流



狭路四国八十八か所第三十五番、西光山・極楽寺。六月になると、境内一杯に花菖蒲が咲き乱れます。二百種、約五千株。住職さんがこつこつとお世話をされ、現在も株数は増え続けています。詳細については、インターネットに掲載されています。

子供らが幸せに暮らせますように」「私も病氣しとるから幸せに暮らせますように

毎日、健康で過ごさせてもうてありがとうございます

毎日無事に過ごさせてありがとうございます



「えりあしをすっきりしていてな」
「さんわりしたな～。なじみの
髪結さんに何十年ぶりに洗ろて



「こんな美味しいお茶よばれたら生き返るわ。」



散歩を兼ねてサルビアのお友達に
会いに行きました。

散歩はいいけどあの坂がかなわんな、年行ったらあかんわ～」



畑仕事

この春に耕した畑で、なすび・ししとう・きゅうり・トマトが実り、毎日数本づつ収穫して、漬物やお汁、付け合わせにして食べています。「採れたては、やっぱり美味しいなあ」というご入居者の方々の声が飛び交います。来年は、裏庭も使って畑全体に野菜と果物を植える予定です。

ええ野菜作らなあかんから、耕したあとは、よう水まいて肥料やらなあな

この「しそ」いつまで採らなあんのやろか、なんぼでもでんな(笑)



畑の前の植木鉢には花が咲き、その後ろにはアサガオが満開です。

編集後記

皆様は皆既日食をご覧になりましたか？

あの日は薄曇り、五色グループホームでも入居者の方々と観察をしました。「四十六年前にも見たな」と言われる方もいました。

我が家の六歳の息子が言った、「お母さん、お日さま食べられたの？」この言葉に、家族全員が大笑い。子供の正論「愛らしさを感じました。」

編集委員 伊原・新谷・山本・
脱勝・徳田・山村

施設理念

つながる「きずな」

広がる「笑顔」

あなたらしさのお手伝い

洲本市五色健康福祉総合センター

「明るく元気な笑顔を絶やさずに」

五色グループホーム

